

米国環境保護庁
ワシントン、D.C.20460

大気放射局

2016年3月17日

ENERGY STAR コンピュータサーバ パートナー関係者各位

米国環境保護局(EPA)は、このレターにより ENERGY STAR コンピュータサーバ基準の改定版を発表する。このレターの主要点は優先分野の初期リスト及び改定プロセスの次のステップである。EPA は基準バージョン 3.0 策定に当たり関係者との共同作業を期待している。バージョン 3.0 では技術の進歩を取り入れ、サーバのエネルギー効率要件に関する基準を高める予定である。

EPA は、バージョン 3.0 の改訂に当たっては以下のステップを取る予定である。

- ・稼動状態(Active State)エネルギー効率要件を設定する
- ・電源効率要件を増加させる
- ・補助的処理加速装置(Auxiliary Processing Accelerators: APA)、フィールドプログラムゲートアレイ(Field Programmable Gate Arrays: FPGA)及びコンピュータサーバにおける他の補完的計算オプション(complimentary computing options)の処理を評価する
- ・現行のアイドル状態要件を訂正する
- ・直流-直流(Dc-Dc)サーバを含むサーバ効率評価ツール(Server Efficiency Rating Tool : SERT)が許容する範囲を潜在的に増加させる

2013年12月16日に基準バージョン 2.0 発効以来、EPA 及び関係者は、2回のシーズンオフ会議を開き標準性能評価法人(Standard Performance Evaluation Corporation : SPEC)の利用可能な SERT データをレビューしてきた。EPA は関係者と緊密な共同作業を行い、サーバの稼動状態性能(Active State performance)を公平に比較するために、市場に出ている全てのタイプの製品に共通する SERT ワークレットスコア(worklet scores)をどうやって集めるかについて検討している。

EPA は基準バージョン 3.0 の改訂プロセスにおいて検討する全ての課題に関し、関係者の意見を歓迎する。EPA は、本仕様書(基準)策定に関する欧州委員会との協同作業に感謝する。

非認証製品のエネルギー及び性能データのデータアセンブリー(Data Assembly)

ENERGY STAR 電力及び性能メトリクスを決めるに当たり、EPA を支援させるべく、本レターに添付したデータテンプレートをを用いて、非認証コンピュータサーバモデルに関する製品情報を製造事業者から提出させている。認証済み製品及び非認証製品の両方のデータからなる確実な(robust)データにより、改訂したアイドル状態レベル及び新しい稼動状態レベルは現在の市場動向を反映していることが保証される。もし貴社が非認証製品データを提出したい場合には、データフォームを全て埋めて、[2016年4月22日までに servers@energystar.gov](mailto:servers@energystar.gov) に送付すること。EPA は 2016年第2四半期には仕様書(基準)バージョン 3.0 草稿 1 を発行する予定である。

仕様書(基準)及び会議資料は、eメールで配信し、ENERGY STAR ウェブサイトに掲載する予定である。
本仕様書(基準)の改訂版に関する EPA の進捗状況を調べるには製品開発ブログ (www.energystar.gov/revisedspecs)及び「コンピュータサーバ」を参照のこと。

質問もしくは懸案に関しては、小職(Hanson.Steven@epa.gov もしくは 202-343-9836)又は John Clinger (John.Clinger@icfi.com もしくは 215-967-9407)に連絡のこと。

Steven Hanson

ENERGY STAR データセンター製品マネジャー